
空中プランコ

ダレン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空中ブランコ

【著者名】

ダレン

【あらすじ】

今まで平凡な生活を送っていた瑠維。しかし、そんな瑠維も初めて。。。ブランコはやはじめた??かな

1-漕ぐる* 田線（前書き）

初めてですが、読んでいただけすると嬉しいテス . . 。よりじくお
願いします

1. 溝きめ* 目線

「えっと……あのさあ……俺と……付き合ってくださいー。」

はいいいいつ！？い
い…………今この人なんていつたの？い
きなりだよ、これは。

あつ
！・！・！

「まさか、もしかして男子達の間でゲームしてて、
×ゲーム！？っていうアレ？」

一応聞いておいた。たゞで、もし、あたしの予想通りだつたらかなり恥かくことになるし。こんな風に告白されるのは14年平凡に生きてきたなかで初めてだ。

「本当に、本当に×ゲームとかで、言つてない？」
「どうにもならない笑いをしてしまつ。す
ると慎は慌てて、さつきまで恥ずかしさで落としていた視線をじら
りに向けなおした。視線はまっすぐにこちらを見据えていた。
「違う。そんなんじゃない。」

本當なんだ

こんな、けつこう回りからモテてしまつ人が、あたしのことを……。

との出会いはクラスが一緒になったことから始まつた。毎年恒例の
クラス替えがあつて、中学最後の年くらいあたしが一番信頼してゐ
る彩末あみと同じクラスになりたかつた・・・つて、少しだけしょげてた
とき。

あたしの席より3mくらい離れた斜

め前の席。

それから、一日に何回も何回も、言葉

なしの会話をいっぱいしたよね。

嬉しかった。

なかなかクラスに溶け込めない、こんな

なわたしを見ていてくれて。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9351a/>

空中プランコ

2010年10月31日03時53分発行